

令和7年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名: 三重県

農業委員会名： 鈴鹿市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和 5年 7 月 20 日

任期滿了年月日 令和 8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	10
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	3
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	25	25	23

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	3,048
農業経営体数	1,727

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹の農業従事者数	1,869
女性	654
40代以下	181

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	215
基本構想水準到達者	48
認定新規就農者	16
農業参入法人	
集落営農経営	11
特定農業団体	
集落営農組織	11

※農業委員会調べ

單位:ha

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	3,600	1,930			5,530

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	5,530 ha	3,065 ha	55.4 %
課題	面的整備が未実施もしくは不可能な箇所については、担い手の引受けも困難であり、集積に結びつかない。担い手による受託可能面積も限界に近く、また、高齢化も進んでいることから次世代の人材育成が急務である。		

- ※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入
※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう
※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和 11 年度	集積率	70 %
今年度の新規集積面積	474 ha	農地面積(C)	5,530 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,539 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	64 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	151 ha	151 ha	ha
課題	優良な農地を維持・活用するために、円滑に農地中間管理機構や担い手へ繋げていく必要がある。また、条件的に不利な農地については、地域における検討を要するため、支援体制の強化が必要である。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	124 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	25 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	17 ha
---------------------------	-------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者		令和5年度新規参入者		令和6年度新規参入者	
	2	経営体	2	経営体	2	経営体
	0.7	ha	1.6	ha	40	ha
課題	栽培技術や安定経営、また、新規に農地を借入または取得していくことに対する不安が大きく、新規参入への弊害となっている。栽培技術や経営ノウハウを高めるとともに、農地の確保、運転資金に対する不安の軽減を図るべく、新規就農者への相談体制を充実させる必要がある。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均	
	486	ha	276	ha	304	ha	355	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積				35.5	ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8	日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	19	人
			農地利用最適化推進委員の人数	25	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3	回
取組時期	取組項目	強化月間の内容	
令和7年9月	遊休農地の解消	利用状況調査の結果をもとに、遊休農地の所有者へ解消指導を行う。	
令和7年11月	農地の集積	遊休農地を農地中間管理機構や担い手へ繋げる。	
令和8年1月	農地の集積	後継者のいない農地を農地中間管理機構や担い手へ繋げる。	

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1	回
開催時期	未定	相談会名	三重県農林漁業就業・就職フェア
参加者数	未定	開催場所	未定
相談会の内容	公益財団法人三重県農林水産支援センターの主催により、県内農林漁業者などが出展し、農林漁業の仕事の内容や求人情報の紹介を行うとともに、市町や県などの関係機関から支援メニュー等の情報提供を行う。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)